

ぐるめ散歩

……カフェ、コーヒー豆販売……
 ケーパース ロースタリー ラボ
K.Base Roastery Lab.

自家焙煎した豆をていねいに抽出したコーヒーと軽食を開放的な空間で味わえるカフェ。ドイツ製とイタリア製のアンティーク級の焙煎機を備え、豆の販売も行っている。

同店は、狛江育ちで、経営・ITコンサルタント業の傍ら狛江の町づくりに取り組む繁平光伯さん(41)が、閉店する中野区の老舗焙煎卸商から焙煎機を譲り受けることになり、地域の人と交流できる「交差点」をつくらうと平成30年に開店。「地元・狛江をベー



焙煎機の前に立つ繁平さん(左端)とメンバー

☎6677-7566 中和泉2-11-1中和泉第一マンション106 営業:平日=午前9時~午後6時 土・日・祝日=午前10時~午後6時 水曜日休み



■おすすめMENU■
 ②プレミアムコーヒー¥330(S) / ハンドリップ¥500 / カフェラテ¥500(S) / サンドイッチ(③たまご¥400(フル) ④サラダ¥500(フル)) / ピザトースト¥500 / ①週替わりランチ¥800(テイクアウトのみ) (税込み)



本格焙煎機で老舗の味受け継ぐ 狛江をベースに地域交流の交差点

スに店を展開したい」という意味を込めて店名を付けた。

小・中学校時代の同級生・矢内智史さんが焙煎を担当、50年に及ぶ老舗の味と技を受け継ぐため半年がかりで修得に努めたという。コーヒー豆はタンザニア、グアテマラ、ブラジル、パプアニューギニアなど有

名な産地の18種を扱っている。飲み比べを楽しんでもらうため、毎月1日と21日には豆を2種類買うと割引くサービスを行っている。

矢内さんの妻・由貴さんが店長を務め、コーヒーに合った軽食を提供している。自家製の鶏ハムや野菜

をたっぷり使ったサンドイッチが人気。テイクアウトもあり、週替わりランチが好評だ。午前11時までモーニングサービスがある。

支店として狛江駅構内にK.Base Coffee Store、狛江三叉路交差点近くにK.BASE COFFEE STANDがある。

消防署、農家、市内企業の教材映像5本

仕事の現場に密着取材

保護者ら15人がボランティアで制作、YouTubeで公開

市内の小学生の保護者など15人のボランティアが制作に取り組んだ教材映像「しごと場訪問動画」が間もなく完成する。

制作された映像は「千代田第一工業-狛江で見つけた! めっきやさん」「コララジ-みんなで作るコミュニティFM」「アンス-夢と思い出の遊具をつくる」(前・後編)「消防署大公開! 狛江消防署バーチャルツアー」「消防署の1日密着! 消防隊24時」「狛江の野菜と地産地消-農家の人たちの仕事」(前・後編)の5本。映像の時間は約4分から約26分で、最後の農家編が近日中に完成の予定で、他は既にYouTubeに公開(一般・限定)されている。

担当の市教育委員会社会教育課によると、3年前からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で小・中学生の地域探検や職場体験の機会が減り、そうした状況を改善する必要性が指摘された。そのため、市教委が作成した副読本『3・4年生 わたしたちの狛江市』を補完することもねらって、映像制作が企画された。

市教委では、地域学校協働活動推進事業の一環として取り組むことにし、主に中学生向けとして、特殊技術のめっき加工を行う千代田第一工業株式会社、コミュニティFM「コララジ」(狛江ラジオ放送株式会社)、公園のモルタル遊具などを製作している株式会社アンスの市内企業3社を取り上げた。



狛江消防署を取材するボランティア

まず、昨年春から夏にかけて映像カメラマンや放送局のディレクターなどがボランティアとして制作した千代田第一工業と「コララジ」の2本が完成した。

次いで小学生向けに農家と消防署編の制作を企画、中学生向けの2本を視聴した校長などの意見を聞き、保護者など幅広い視点を取り入れることにした。秋に小学校を通じてチラシを配りボランティアを募集、大学生や主婦、会社員、カメラマンなど15人以上が応募、半分は小学生の子の保護者だった。ボランティアは3グループに分かれ、涉外、脚本、撮影、編集、タイムキーパーなどを分担して作業を進めたが、義務教育の教材用映像制作に保護者が参加するのは珍しいという。

消防署の映像では消防署の1日に密着して仕事を紹介、消防士、救急隊員などへのインタビュー、小学校2校で募集した聴きたい質問に消防士が回答したり、市内の小学生がイラストを描き、声の出演をしている。

地元農家の映像では、地産地消の意味、栄養士や農家へのインタビュー、市内産の野菜を使ったこま井の紹介、クイズなどを盛り込

むなど、2本とも3、4年生に理解しやすい工夫が施されている。

また、中学生向けの映像のうち、アンスは今年制作して完成したが、3本とも社員や経営者へのインタビュー、普段は見られない現場や作業風景などを交えて仕事を紹介している。

制作に参加したボランティアは「子どもが理解できる言葉や映像になるようずっと考えながら作業しました」などと話していた。

市教委では、映像の内容やYouTubeのアドレスや二次元コードなどを掲載したA4判3つ折りのパンフレットを作って子どもや保護者などに視聴を勧める予定。

念仏講を展示・実演 10日に泉の森会館で

泉の森友の会(井上昭一会長)が、「念仏講」をテーマにした講演と展示・実演会(狛江市教育委員会後援、泉龍寺協力)を10日(午後3時から)狛江駅北口の泉の森会館で開く。

かつて市内で行われていた習慣や伝統行事を後世に伝える活動のひとつとして企画したもの。狛江育ちで同会会員の小町達男さんによると、数十年前は死者を出した家で葬儀の時などに家族や親戚などが長い数珠を回して死者を悼む「弔い念仏」が行われていた。また、娯楽が少ないなかで女性の楽しみとして「月並み念仏」が行われていたという。

当日は、狛江市市史編集専門委員で『江戸東京の庶民信仰』などの著書がある長沢利明さんが講演するほか、小町さんらが当時使われていた撞木で鉦を叩いて数珠を回しながら念仏を唱える実演を行う。会場には念仏の時に飾る掛け軸や念仏を記した文書などを展示する。入場は無料。

問い合わせは ☎090-2530-2804 飯田さん。



は〜とGoods

オリジナル製品が人気

オリジナルクッキー「ひなまる」は、甘さ控えめで口溶けがよく添加物を使っていないため幼児からお年寄りまで安心して食べられる。ボランティアのアイデアから生まれたかわいい丸い置物「はりねずみ ハリーくん」は白・黒・グレーの3色の太い毛糸で作られており、ストラップをつけてアクセサリにもできる。また、プラスチック製の根付けやアクセサリなどを試作し、販売する予定。

一般社団法人陽向会が運営する就労継続支援B型事業所「ワークひなた」の利用者が、受託作業などの合い間に自主製品を作り、主に同事業所が参加する上手いもの市、市民まつり、障がい者週間などのイベントで販売している。

価格=クッキー(5個入り)200円、はりねずみ ハリーくん500円(いずれも税込み)。ワークひなた=岩戸北1-7-9-107 ☎5761-8408



四季彩彩

伊豆美神社

伊豆美神社(中和泉3-21-8)は寛平元(889)年の創建と伝えられ、大國魂大神(大國主命)をまつ。約3,300㎡の緑豊かな境内は静けさに包まれ、市指定文化財の井伊直弼公敬墓碑、開港記念碑などが歴史を感じさせる。慶安4(1651)年に立てられた市指定文化財の鳥居から社殿へと延びる参道は両側に高い木々が並び、秋には紅や黄色の落ち葉で彩られる。

写真:みやゆかさん「雨上がりの伊豆美神社」(第2回狛江市観光写真コンクール入選)